

有水中学校校長室より

終業式での話

1学期が終わりました。学校というところは、区切りがあつていいですね。自分を振り返るポイントになるし、長く休んでリフレッシュすることができます。こんな事が続くのはこの先大学まで入った人でも10年はありません。今のうちです。長い休みに何か「これ」ということ決めて取り組むにはもってこいの時間です。

読書をしますか。苦手教科に取り組みますか。体力作りをしますか。家の手伝いをいつも以上にしますか。自転車でどこかへ出かけてみますか。そんなこと言われても、課題が出てますよ!と言いたいですね。そりあ出ます。みんなは課題が出なくとも自分から勉強しますか?日頃は、50分の授業を6校時学校で勉強しています。夏休みの土日祝日を除いた日数にこの時間をかけると115時間となります。こんな膨大な時間を役にも立たないようなことに使ったら、人生の時間がもったいないわけです。今、家に帰って、自分が一番やりたいこと、楽しいことを思い浮かべてください。なにがしたい?ゲーム?SNS?夏休みにそんなことばかりしますか?それ、これから生きていく上で役にたちそうですか?夏休みを前にして勉強大切って話をされてもねー。って思いますか?勉強の話、しますよ!それが先生たちの仕事です。あなたたちに勉強させて、しっかりと成長させることが先生たちの仕事です。勉強なんかしなくともどうにかなるさ、なんていう無責任な事を先生たちは言いません。なぜなら勉強しないまま成長していくことの恐ろしさを知っているからです。

実は夏休みに課題に取り組むのは、勉強の力を伸ばすためだけではありません。むしろ今から話す力の方が大切です。みんながまだ自分ではコントロールできない生活のリズムをコントロールしてくれているのが学校という存在です。夏休みは自分でコントロールする力をつける訓練の期間でもあります。いやだな、面倒くさいなと思う事でも我慢して取り組んでみる。その材料として課題があるのですね。

最後に、みんなは夏休みでも世の中は普段通りに動いています。普段と違う時間に世の中にでると、普段通りに動いている人たちがいます。たとえば、車を運転している人も、「こんな時間に中学生が自転車に乗っているなんて!」と驚きます。いつもと違うということは、危険度が増します。その上皆さんは、夏休みということでテンションが上がっているので、心のブレーキがきかないときがあります。だから安全面には十分に注意してください。そして言うまでもありませんが、コロナを始め病気にかかるないように健康管理には十分気をつけてください。

二学期の始業式の日に元気に登校してくれるのが一番の願いです。課題が終わっていないから行きたくないなー、暑くていやだなーなんて考えず、学級通信に書いてあった二学期の始業式の日に持ってくる物を鞄に入れて登校してほしいと願っています。

タブレットについて

上記の終業式の話の中でも伝えましたが、各自が自主的に取り組まなければ、単純に計算して115時間という学習時間が夏季休業中に失われます。その時間量を考えると、休業中の課題の量は妥当もしくは少ないのかもしれません。さて、今回の課題の中に「宅習」がありません。宅習は自分で取り組める人はやりましょう。というスタンスです。「宅習」の代わりに登場したのは[AIドリル:キュビナ]です。自宅に持ち帰っているタブレットで取り組みます。教科によって[この項目に取り組むように]という指示が出ています。(夏休みの課題一覧の裏)キュビナの強みは繰り返し苦手ポイントに取り組む事ができるシステムです。取り組んだ状況は学校の方で確認できます。今年の夏は、タブレットに向かって学習している姿を見ることになるはずです。

長い夏休みに向けて学校よりの連絡体制について

34日間という長い休みです。何事もなく二学期の始業式を迎えることが一番の願いです。しかし、何があるか分かりません。休業期間、学校と家庭をつなぐのは、ホームページとシグフィです。生活や学習に関する緊急性のない内容はホームページで、緊急性の高い事案はシグフィでお知らせします。シグフィは、着信がありましたら、早めの開封をお願いいたします。